

令和7年度第3回三重県精神保健福祉審議会
ギャンブル等依存症対策推進部会 議事概要

日時：令和8年2月4日（水）18時～19時15分

開催方法：W e b開催

出席者：会長 鬼塚俊明 他委員12名

【議事概要】

(1) 三重県ギャンブル等依存症対策推進計画（第2期）最終案について

<事務局の説明>

- ・資料に基づき説明を行った。

<委員の主な意見>

- ・研修、勉強会を開催する際には、当事者団体が関わるようにしてほしい。
- ・複合的に問題を抱えた当事者はどこに行けば良いのかわからないのではないか。相談しやすい窓口などをどう作っていけるかが今後の課題だと思う。

(2) その他

<委員の主な意見>

- ・依存症は、発達障害、ADHD、不安障害、気分障害を合併しやすい。子供にはより啓発を行い、学校の先生も含めて、小さい折から注意して、ご理解いただくといいかと思っている。
- ・ギャンブル等依存症の当事者は、家族の抑圧から逃れるためギャンブルにのめり込む人や、発達に課題がありのめり込む人など、原因が多岐にわたっている。当事者がそれぞれ抱えている問題に個々にアプローチできるような支援が必要であると思う。
- ・ギャンブルは娯楽としてはなくならないと思うが、確実に一定数のコントロールを失う人が生じてしまう。家族や子供が巻き込まれ、困窮の問題に目を向けて、依存症の人を極力減らしていくため、事業者とも連携を取りながら、具体的な方法で取り組んで行きたい。